

与謝野文庫

与謝野鉄幹と与謝野晶子の弟子で医師の近江湖雄三・満子夫妻が収集保存に努めた与謝野関連の資料等が、昭和女子大学教授、池田亀鑑の推薦により昭和28(1953)年に本学に譲渡され、昭和30(1955)年に文庫を設立した。鉄幹と晶子の著作、関連雑誌、自筆資料、遺品、約300点が収蔵されている。

与謝野鉄幹(1873-1935、本名、寛)は、明治33(1900)年4月、新詩社の機関誌「明星」を創刊、第二次「明星」、「冬柏」を晶子らと刊行した。

与謝野晶子(1878-1942)は『みだれ髪』明治34(1901)年の他、「明星」の中心作家として浪漫主義の全盛期をもたらした。